

伯耆町林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計画期間
自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 1 8 年 3 月 3 1 日

令和 8 年 3 月

伯 耆 町

1 基本的事項

町が管理する林道施設のうち、インフラ長寿命化計画の対象とする施設は、林道郷原線に架かる郷原橋、林道田代線に架かる無名橋及び林道日野金城線の久住トンネルである。郷原橋は供用から55年、無名橋は供用から53年、久住トンネルは供用から25年が経過し老朽化が進行している。

今後、施設の維持管理・更新費等の増大が懸念されることから、可能な限りコストの縮減を図りつつ、インフラ機能の維持・確保を効率的に実施していくことが必要である。

町では、令和7年度に林道橋定期点検マニュアル及び鳥取県道路トンネル定期点検要領に基づき林道施設の点検業務を実施した。この定期点検により、安全で安心な交通の確保、沿道や第三者への被害防止を図るため橋梁に係る維持管理を効率的に行うために必要な情報を収集した。

これらを踏まえ、本計画では、早期段階で予防的な修繕等を実施する予防保全型維持管理の考え方を導入し施設の機能の維持・回復等を図ることとし、定期点検等による施設の現状を把握の上、個別の施設毎に長寿命化計画を策定するものである。

2 対象施設

本計画の対象とする施設は、町が管理する橋梁2橋とトンネル1箇所である。

3 計画期間

本計画は令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とし、定期点検（5年毎）を経て、5年毎に見直しを行うものとする。

4 施設の優先度

点検・診断により施設の健全性を評価した上で、当該施設の利用形態、施業計画等を考慮し、施設毎に優先度を決定することとし、本計画における施設毎の優先度は別紙のとおりである。

5 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された施設毎の状態については、別紙のとおりである。

6 対策内容と実施期間

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7 対策費用

施設毎の対策費用の概算については別紙のとおりである。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変更が生じる場合がある。

林道施設個別施設計画(橋梁)

個別施設整理番号	1	林道台帳整理番号	1803	施設管理者	伯耆町	
路線名	郷原			林道種類及び区分	自動車道2級	
橋梁名	郷原橋			建設年度	S45	
施設の所在地	伯耆町福岡			起点からの距離	0.0km	
建設年数	1970	供用年数	55	種別	鋼橋	
道路橋示方書	不明		橋格(設計荷重)	2等林道橋(137KN)	橋下条件	一級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	H形鋼(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)			
			支承型式	鋼製支承		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	20km				
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には、県有林、町有林、公社造林等の豊富な森林資源が存在している。この森林の適正な森林整備・管理、木材搬出等を進める上で必要な林内路網の幹線として利用されている。					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R7	令和7年7月3日		
	調査結果	・床版に局所的な鉄筋露出、ひびわれ、遊離石灰を伴うひびわれ等が発生しているため予防措置を講じることが望ましい。			
	健全性の診断結果	II 予防保全段階		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	

長寿命 化計画 の内容	計画期間	R8 年度 ~ R17 年度			
	内容	定期点検を実施し、経過を確認する。			
	実施予定時期	令和12年度(定期点検) 令和17年度(定期点検)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 修繕不要であるため、「低」とした。		
	対策費用(概算)				
管理方法	①5年に1回の定期点検を行う。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					250					250	
対策の内容	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	

備考											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

個別施設整理番号	2	林道台帳整理番号	1804	施設管理者	伯耆町
路線名	田代			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	無名橋			建設年度	S47
施設の所在地	伯耆町二部			起点からの距離	0.1km
建設年数	1972	供用年数	53	種別	Co橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	2等林道橋(137KN)	型式	コンクリート床版橋
				橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.3m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)			
			支承型式	ベタ		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	19km				
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には、県有林、町有林、公社造林等の豊富な森林資源が存在している。この森林の適正な森林整備・管理、木材搬出等を進める上で必要な林内路網の幹線として利用されている。					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R7	令和7年7月3日
	調査結果	A2橋台に局部的な鉄筋露出、ひびわれが発生しているため予防措置を講ずることが望ましい。	
	健全性の診断結果	II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態

長寿命 化計画 の内容	計画期間	R8年度 ~ R17年度	
	内容	定期点検を実施し、経過を確認する。	
	実施予定時期	令和12年度(定期点検) 令和17年度(定期点検)	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 修繕不要であるため、「低」とした。
	対策費用(概算)		
管理方法	①5年に1回の定期点検を行う。		

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					250					250	
対策の内容	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(トンネル)

個別施設整理番号	1	林道台帳整理番号	15	施設管理者	伯耆町
路線名	日野金城線			林道種類及び区分	自動車道1級
施設名	久住トンネル			建設年度	H12
施設の所在地	伯耆町福岡			起点からの距離	1.9km
建設年数	2000	供用年数	25	種別	陸上トンネル
				トンネル等級	D

施設概要	施設の規模	トンネル延長	217.0m (447.0 m)			
		幅員(車道幅員)	5.0m (4.0 m)			
	施設の構造等	工法	NATM工法			
		内装種類	覆工(内装無)			
		天井板種類	無			
		坑門	坑門型式	面壁型		
	海岸からの距離	24km				
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には豊富な森林資源が存在している。この森林の適正な森林整備・管理、木材搬出等を進める上で必要な林内路網の幹線として利用されている。					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年7月3日		
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・外圧による変状について 前回Ⅱb判定とされた、段差が確認された1スパンについては、進行が見られなかったが継続監視としてⅡb判定とした。 ・材質劣化による変状について 前回Ⅲ判定とされた1箇所については、修繕済であったためⅠ判定とした。 前回Ⅱaと判定された2箇所については、進行が見られなかったが継続監視としてⅡa判定とした。 前回Ⅱb判定とされた1箇所については、鉄筋腐食によりコンクリートが膨張すると、ひび割れやうきが生じる可能性があるため、判定をⅡb→Ⅱaに変更する。 今回新たに確認された、はく離・鉄筋露出については、コンクリートにひび割れやうきを生じる可能性があるため、Ⅱa判定とした。 ・漏水による変状について 前回Ⅱb判定とされた8箇所については、進行が認められなかったが、連続監視としてⅡb判定とした。 今回アーチ部で新たに確認された漏水については、継続的な監視が必要と判断し、Ⅱb判定とした。 			
	健全性の診断結果	Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R17 年度	
	内容	①定期点検を実施し、経過を確認する。	
	実施予定時期	①令和12年度(定期点検)令和17年度(定期点検)	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階である事から、優先度は「中」とした
	対策費用(概算)	①定期点検 3,000千円	
管理方法	①5年に1回の定期点検を行う。		

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					3,000					3,000	
対策の内容	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	巡視	巡視	巡視	巡視	定期点検	

備考	
----	--